

平成19年度 予算

かけ 崖っぶち 予算

～知恵と工夫と意識改革により、財政健全化を目指します～

山陽小野田市の平成19年度の予算が決まりましたので、お知らせします。

今年度は総額で697億9,714万1千円となり、うち一般会計は前年度比0.04%減の255億3,600万円となりました。本年度も昨年に引き続き、厳しい財政状況となったため、「崖っぶち予算」と名付け、思いきった事務事業の見直しを行いました。「崖っぶち」にまで追い込まれた主な要因として下記のようなことがあげられます。

○歳入

- ・一般財源（自由に使えるお金）の減少
⇒市税の伸び悩みや、国による地方交付税総額の抑制

○歳出

- ・義務的経費（人件費、扶助費、公債費）の増加
⇒（人件費）団塊世代の大量退職による退職金の増（扶助費）児童手当等の増（公債費）施設や道路の整備事業のため借入れた市債の返済額がピークを迎える

このような状況の中、19年度の予算編成作業に入りましたが、歳入に対し歳出が上回り大幅な財源不足となりました。職員給与や議員報酬等は昨年度と同様に減額し、事業も1つずつ見直し、予算を削減する作業を何度も繰り返しました。補助金等も昨年度と同様に削減し、また今年度から新たに削減したものもあります。さらには各施設の清掃委託料や、電算等の保守料等、施設の維持管理費や行政運営に必要なものまで削減しました（8ページ参照）。それでも財源不足となったため、市民サービスに影響を及ぼすことが想定される図書館の図書購入費の削減などを行いました（下記参照）。このような状況となったことについて、大変申し訳なく思っていますが、現下の極めて厳しい財政状況を乗り切るため、知恵と工夫と意識改革により、財政の健全化を目指したコスト削減等を図ってまいりますので、市民のみなさんのご理解とご協力をお願い致します。

【問い合わせ先】 財政課 ☎82-1131

縮小された主な事業

() 内は (18年度⇒19年度予算額)

- 敬老祝金 (85万円 ⇒ 0万円)
- 米寿記念品の贈呈 (119万円 ⇒ 0万円)
祝金と記念品に代えて、お祝いの気持ちをお届けする方法を考えます。
- 中学生の海外派遣事業 (158万円 ⇒ 0万円)
海外派遣は英語暗唱大会の入賞者への副賞でした。今年の暗唱大会は主催者（国際交流協会）と協議のうえ実施します。副賞は趣旨に沿うものを今後検討します。
- 図書購入手業 (1,428万円 ⇒ 122万円)
市民から図書の寄贈を頂きたく、受入体制を整えます。
- イルミネーションコンサート事業 (254万円 ⇒ 0万円)
入場料で賄えるイベントとして実施できないか、検討します。

平成19年度 各会計予算額

会計名	予算額	対前年度増減率	
一般会計	255億 3,600万 円	△0.0%	
特別会計	訪問看護ステーション事業	3,172万 7千円	△8.3%
	土地取得	332万 6千円	△44.2%
	駐車場事業	5,623万 2千円	16.8%
	国民健康保険	73億 6,019万 6千円	6.6%
	介護保険	41億 2,333万 6千円	5.1%
	老人医療	85億 3,401万 2千円	△0.9%
	地方卸売市場事業	1,111万 5千円	△25.1%
	下水道事業	31億 5,866万 4千円	△13.5%
	農業集落排水事業	8,488万 5千円	△3.2%
	小型自動車競走事業	126億 4,737万 3千円	△3.9%
	特別会計の計	360億 1,086万 6千円	△1.2%
公営企業会計	水道事業	23億 3,139万 2千円	2.4%
	工業用水道事業	3億 7,410万 円	△8.6%
	病院事業	55億 4,478万 3千円	△1.0%
	公営企業会計の計	82億 5,027万 5千円	△0.5%
総予算額	697億 9,714万 1千円	△0.7%	